



令和4年 1月31日
豊玉南小学校たより

令和 3 年度 2 月号

とよみなみ

魅力に引き込まれる

校長 風見由起夫

1月初旬の降雪、東京都心では10cm以上の積雪となりました。子供のころは、舞い散る雪にわくわくし、地面が白く覆われていくのを見て、雪合戦や雪だるま作りができるのが喜んだものでした。大人になって、交通機関への影響や通学路（特に歩道橋）の路面凍結などが浮かんで来て、降雪にわくわくではなくドキドキするようになりました。

しかし、古河藩主の土井利位^{どいとしつら}、アメリカのウィルソン・ベントレー、北海道大学教授の中谷宇吉郎^{なかやうきちろう}は、大人になっても降雪にわくわくした人の代表でしょう。土井藩主は「雪の殿様」とよばれ、雪が降るたびにその形を、墨で紙に描きとどめました。ベントレーは農業を営みながら、雪の結晶を写真に撮り続けた人物です。そして、中谷教授は、雪の魅力に引き込まれ、世界で初となる人工雪の制作に成功した人です。中谷教授の研究は、雪から上空の大気の様子を推測できるようになり、気象に大きな影響を与えることとなります。

また、先日の新聞に海洋物理学者 光易 恒^{みつやす ひさし}教授の記事が掲載されていました。こちらは、波の魅力に引き込まれた人です。様々な波を撮影、研究しているうちに、奇跡的に「三角波」を撮影することができ、世界が称賛し、その写真を研究論文に使用したいという人が大勢いるそうです。

科学の進歩、発展は、人が何気ないものへ興味、関心を抱くことから始まるのだと思います。子供たち全員が科学者を目指しているわけではありませんが、身の回りや自然の様子に興味、関心をもち、追究する力を子供たちに育てたいと考えています。そのためには、身の回りの何気ないもの（こと）に気付く力、それを追究する力を、学習で身に付けていかなければなりません。一方で、身の回りのもの（こと）に触れる機会、出会いも大切にしていかなければなりません。

タブレットを活用し、インターネットを使って様々なことを、すぐに調べることができるようになりました。これからも ICT を上手に活用しながら気付く目、考える力を育てるとともに、経験や体験の機会を大切に教育活動を進めていきます。



2月の行事予定

※ 感染症の状況により、予定を変更する場合があります。

1日（火）	午前授業（研修のため）	14日（月）	クラブ活動（4～6年）
3日（木）	午前授業（展覧会前日準備）		クラブ見学（3年）
4日（金）	展覧会（児童鑑賞）		読書旬間始
5日（土）	登校日 展覧会（保護者鑑賞）	15日（火）	補充教室
7日（月）	振替休業日	17日（木）	社会科見学（3年）
9日（水）	午前授業（研修のため）		お別れスポーツ大会（5・6年）
10日（木）	午前授業（1年のみ）	18日（金）	午前授業
	新1年生保護者説明会	22日（火）	保護者会（5・6年）
11日（金）	祝日：建国記念の日	23日（水）	祝日：天皇誕生日
12日（土）	土曜授業日（公開なし）	25日（金）	読書旬間終 6年生を送る会
	馬頭琴の演奏（2年）	28日（月）	委員会活動
	二分の一成人式（4年）		

今月の生活目標

寒さに負けない体にしよう

空気の乾燥した日が続いています。冬には、寒さから体温が下がり病気への抵抗力も落ちます。よく食べよく寝るよう指導し、改めて生活習慣を見直させることを通して元気な体を育めるとよいです。本校でも、こまめに「手洗い」をすることを引き続き指導しています。休み時間には空気の換気も行い、清潔な空間で学習に取り組めるよう環境を整えています。ハンカチ・ティッシュを持参するようご家庭でもお声掛けください。

〈百人一首〉

百人一首担当

6年間で100首を覚えることを目標に、百人一首に取り組んでいます。覚える札の数の目標は、1・2年生20首、3年生60首、4年生以上100首です。児童が取り組みやすいように、20首ごとに色分けされた五色の札のセットを各クラスに置いてあります。

この取り組みの一環として、学級や学年で百人一首やカルタとりを予定し、一枚でも多くの札を取るために、百人一首を覚えてくることが、冬休みの宿題に出されていた学年もありました。

また、毎年6月と2月の年2回、百人一首検定を実施しています。一回に10から20首の札を覚えて検定を受けます。各学年の目標札数を覚えると賞状を渡し、100首合格者には、「合格バッジ」を渡しています。また、4～6年生で100首覚えると「百人一首名人」として検定委員に認定されます。

日本人の心と体に刻み込まれている和歌のリズム、この伝統的な文化を楽しみ、触れるよい機会と考えています。是非ご家庭でも百人一首をお子さんと一緒に口ずさんでみてください。

◇給食費・教材費 引き落とし日

①2月7日(月) ②2月15日(火)

入金をよろしくお願ひ申し上げます。

〈季節の一句〉

今、子供たちは季節の一句(冬)の俳句作りに挑戦しています。自然の変化や生活の中から発見したこと、感じたことなどを五七五のリズムにのせて表現することで、短い言葉の中で自分の思いを伝えるとともに言葉に対する感覚を磨くことをねらいにしています。これまでの最優秀作品です。

なの花が ゆれる春風 ほほえむよ

(春・3年生作)

入道雲 空へつながる 雲はしご

(夏・5年生作)

豊南 みなに愛され 六十さい

(60周年・4年生作)

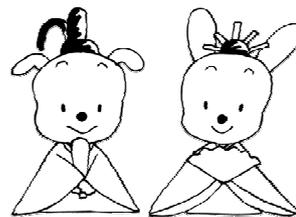
ローカル線 稲穂をゆらし 進み行く

(秋・5年生作)

ホクホクの 石やきいもが ねっとりだ

(秋・3年生作)

冬の優秀作品は、2月初旬に選考します。



〈学校図書館より〉

図書担当

豊玉南小学校の子供たちがさらに多くの本に触れ、読書への関心を深めることができるように、読書旬間を実施しています。10月は練馬図書館から各クラス、共通のテーマで集められた40冊の本を借りました。自分では手に取らないようなジャンルも読むことができました。2月の読書旬間は図書委員会が各学級へ読み聞かせを行う予定です。

島根純子 学校図書館支援員が週に2～3日勤務しており、読み聞かせや本の選択、調べ学習への助言など、子供たちの疑問をすぐに解決できる環境も整っています。今年度から蔵書が電算化され、スムーズな貸し出しが可能となり、図書室を利用する児童が増えています。学期ごとに新刊も配架しています。是非多くの児童に本を手にとってもらいたいです。